

# 生地通販

スポーツウェアの生地製造などを手掛ける丸井織物(石川県中能登町)は他社製を含め幅広い種類の生地を

購入することができ、プラットフォームを構築する。4月にもポータルサイトを立ち上げる。生地購入者が希望する生地を見つけやすくし、販売者も販売コストの削減につながる。生地メーカーが販売サイトを運営するのは珍しく、生地を買いやすくして需要の拡大を目指す。

## 丸井織物 他社にも開放

# 専門サイト

## まず25社出店

サイトは丸井織物が運営する。販売者は売りたい生地をサイトに登録する。登録料や月額利用料などは無料にする。生地が売れた場合に一定割合の金額を同社に支払う。中小生地メーカーなど25社程度が参加する予定で、同社も将来的に販売者として加わる方針だ。

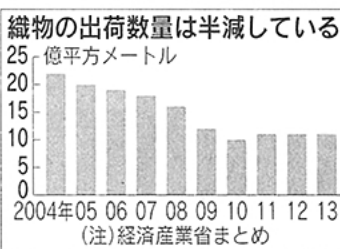
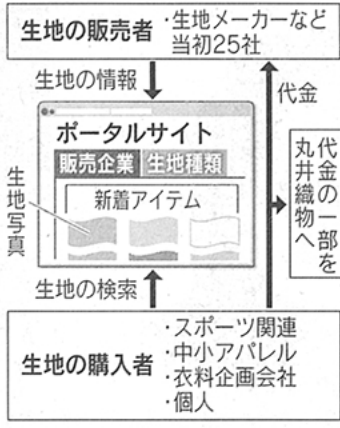
サイトには生地の拡大写真や価格などを掲載し、サンプルを無料で送るようにする。事業者向けのほか、メートル単位でも売ることでも購入しやすくする。問屋などを通さないため安く買えるほか、直接メーカーから購入することで手元に届く時間も短縮する。現金のほかクレジッ

トカードでも決済する。購入者はスポーツ関連の衣料メーカーや中小アパレル、衣料企画会社のほか、個人などを見込んでいる。従来は展示会や問屋などに足を運んで必要な生地を探すことが多かったが、手間がかかっ

ていた。サイトを使えば、手軽に必要な生地を見つけやすくなる。販売者も展示会に出展する費用などを減らせる利点がある。生地メーカーは利益率を高めるため、自社企画製品を増やしている。サイトを通じて需要動向を探り、新製品開発に生かしていく。丸井織物は出品者に売れ筋などの情報を提供する

ことも検討する。生地問屋が運営するサイトはあるが、メーカーが手掛けるのは珍しいという。経済産業省の生産動態統計によると、2004年に22億平方メートルだった織物の出荷数量が13年には半分の11億平方メートルに減少した。サイトを通じて需要の掘り起こしを目指

## 丸井織物が展開する生地購入プラットフォーム



る。現金のほかクレジッ トカードでも決済する。購入者はスポーツ関連の衣料メーカーや中小アパレル、衣料企画会社のほか、個人などを見込んでいる。従来は展示会や問屋などに足を運んで必要な生地を探すことが多かったが、手間がかかっ

ていた。サイトを使えば、手軽に必要な生地を見つけやすくなる。販売者も展示会に出展する費用などを減らせる利点がある。生地メーカーは利益率を高めるため、自社企画製品を増やしている。サイトを通じて需要動向を探り、新製品開発に生かしていく。丸井織物は出品者に売れ筋などの情報を提供する

ことも検討する。生地問屋が運営するサイトはあるが、メーカーが手掛けるのは珍しいという。経済産業省の生産動態統計によると、2004年に22億平方メートルだった織物の出荷数量が13年には半分の11億平方メートルに減少した。サイトを通じて需要の掘り起こしを目指